

いのちと森を守る活動

PIHS 保健ボランティアの能力向上研修報告
— トゥヤン村の参加者へのインタビューから —

Deng Bosikong さん (40 歳の熟練ボランティア)

「指圧の知識が役に立っています。村の病人にマッサージをしてあげていたら、隣村からも声がかかるようになりました。またフィエスタでデモンストレーションもします。先日のフィエスタでは高血圧で意識を失った人がいたので、指圧で血圧を下げ、意識回復しました。その場には助産師も居合わせたのですが手をつけられず、あとでその技術はどこで教わったのか聞かれました。」

デンさんの研修歴は長いですが、積極的に指圧をするようになったのは今年度からです。どちらかといえばハーブ薬研修の方に関心があり、自宅にハーブ園も作りました。

「両方の知識が今役立っています。皮膚病の患者にはハーブの軟膏を渡していますし、喘息の子どもには、その軟膏を背中に塗りながら指圧のポイントを押しています。」

<ロカヤさん>

<デンさん>



Rocaya Harid さん (ハイスクール卒業後仕事が見つからず家事手伝いの 22 歳。今年初参加)

「私はリーダーシップ研修が最も気に入っています。ファシリテーターになりたい。そしてコミュニティのひとびとをもっと元気づけたい。」と将来が楽しみな発言です。

「ハイスクールでも似たようなセミナーはあったけれど、講義だけでした。この研修はもっと実践的です。みんなで演劇を作ったり。」

人前で話したり踊ったりする経験は、自分に自信をもつことにつながっています。

東洋医療研修初体験の感想を聞くと、「怖かった。針を使うとは知りませんでした。そもそも指圧や針治療とは何かも知らなかった。」

PIHS 代表のナプサさんによれば、とてもカンが良いので、東洋医療の基礎コースを終了したら上級コースを受講するべきだ、とのこと。

(今井記念海外協力基金助成事業から・丸島)

ジョジョのクリニック報告 7-9 月分より

* 支援患者延数: 57名 <主な疾患>風邪・インフルエンザ39名、肺炎3名、他

* 巡回診療: 7/26 トゥロクバト地区(一般診療140名・歯科20名)8/26グルンガ地区(歯科のみ52名)

9/27ゴメロ地区(一般診療185名・歯科25名)

* 駆虫薬: 8/12アトモロックで教師に140人配布。

* HANDS定期医療支援月額約5万円の内訳:

ジョジョの給与約1万円、各種医薬品 3.5 万円他。

* HANDS以外の資金による活動: 8月のゴメロ地区医療衛生研修(オーストラリアエイド) 8/10アルフレッド(小5)の口蓋裂手術(アメリカ・スマイル財団)

タラヒク村の28haに苗木9,800本植えました

スララ町タラヒク村の2地区におけるパラゴムノキと在来種フィリピンマホガニーの植林事業は、39世帯の計25haにパラゴムノキ苗木を7,500本、急傾斜地3haには水源涵養林・薪炭材としての在来種苗木2,300本を植樹しました。早いものは人の背丈ほどに成長し(写真下・左)、今後、樹間でコーン・ピーナッツ・根菜類の栽培をしながら、6-7年後のゴム採取、収入向上に期待しています。

その成果に、今回対象にならなかった住民も次年度の事業参加を希望しています。事業開始直後発足したゴムノキ農業組合は苗木の繁殖にも取り組むことになり、種苗店から譲り受けた200本で芽出し・育苗を始めました。モロ民族とティボリ民族の村タラヒクが同じ目標、希望に向けて確かな歩を進めた「緑の募金」事業(写真右・完了を示す看板)が完了しました。



ダグマ山系森林再生3年継続事業2年目終了

雨が多く苗木搬入が大幅に遅れましたが、9月末に2年目事業地域ラワン及びバガカイ地区での苗木14,500本の植樹が終わりました。対象となった40世帯の住民の声は次号で紹介の予定です。

3年目対象地区キナマンガンの住民説明会もまもなく開催される予定です。(三井物産環境基金助成)